



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月28日

上場会社名 日本アビオニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6946 URL <https://www.avio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 竹内 正人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部経理部長 (氏名) 西尾 純一

TEL 045-287-0300

四半期報告書提出予定日 2021年2月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,468	27.8	780		713		628	
2020年3月期第3四半期	11,324	5.6	568		601		635	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 512百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 493百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	222.41	140.80
2020年3月期第3四半期	225.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	26,196	9,591	36.6
2020年3月期	24,816	9,137	36.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 9,591百万円 2020年3月期 9,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後掲「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	13.1	800	859.3	700		200	161.3	70.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	2,830,000 株	2020年3月期	2,830,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	6,151 株	2020年3月期	6,062 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	2,823,911 株	2020年3月期3Q	2,823,973 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
第1種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期 (予想)				0.00	0.00
第2種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期 (予想)				0.00	0.00

(参考) 1. 第1種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。

ただし、計算の結果、第1種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

第1種優先株式配当金=1,000円×(日本円TIBOR+1.0%)

※ 日本円TIBOR・・・毎年4月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オフ
アード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

2. 第2種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。

ただし、計算の結果、第2種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

第2種優先株式配当金=1,000円×(日本円TIBOR+1.25%)

※ 日本円TIBOR・・・毎年10月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オフ
アード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	9
(1) 受注高及び受注残高	9
(2) 売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にある中で、一部に持ち直しの動きがみられましたが、先行きについては、感染の再拡大により一層不透明感が増す状況となっております。

当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により民間設備投資は低迷しているものの、5G（第5世代移動通信システム）関連の設備投資や新型コロナウイルス感染症対策関連需要は引き続き堅調に推移しました。

このような状況の中で当社グループは、感染症対策品として需要が急拡大した赤外線サーモグラフィカメラの生産能力増強や新製品発売により、工場、病院、公共施設など数多くの場所での需要に応じてまいりました。

この結果、連結売上高は前年同期比31億43百万円増加の144億68百万円（前年同期比27.8%増）となり、連結損益は売上高増加に加え、諸経費削減に努めたことから、営業損益は前年同期比13億49百万円改善の7億80百万円の利益、経常損益は前年同期比13億14百万円改善の7億13百万円の利益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益は、営業損益及び経常損益の改善等により、前年同期比12億63百万円改善の6億28百万円の利益となりました。

セグメント別の状況

情報システム

情報システムは、防衛省の国内調達が低調に推移している影響がある中で、受注活動に注力するとともに、収益力向上のため、QCD（品質、コスト、納期）の改善活動に取り組んでおります。これらにより、売上高は増加するとともに諸経費削減に努めたことから、セグメント損益は大幅に改善しました。

この部門の当期の売上高は、91億78百万円（前年同期比11.5%増）となりました。セグメント損益は、前年同期比2億81百万円改善の88百万円の利益となりました。

電子機器

電子機器は、民間設備投資の低迷に伴う影響はあるものの、接合機器の5G関連の海外向け需要や、赤外線機器の感染症対策需要が引き続き堅調に推移しました。これらにより、売上高は増加するとともに諸経費削減に努めたことから、セグメント損益は大幅に改善しました。

この部門の当期の売上高は、52億89百万円（前年同期比71.0%増）となりました。セグメント損益は、前年同期比10億68百万円改善の6億92百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億79百万円増加し、261億96百万円となりました。これは主にたな卸資産が10億76百万円増加したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億25百万円増加し、166億4百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が16億6百万円増加したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億54百万円増加し、95億91百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を6億28百万円計上したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年10月29日に公表しました業績予想に修正はありません。

なお、2020年10月29日に公表しました特別転進支援施策の実施に伴い発生する特別退職加算金等の費用は、業績予想値に一定程度織り込んでおりますが、現時点では応募者数等が未確定であるため、業績見通しへの影響については、確定した段階で速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,350	1,877
受取手形及び売掛金	10,977	11,626
たな卸資産	3,744	4,820
その他	246	204
流動資産合計	17,318	18,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	587	650
土地	3,847	3,847
その他(純額)	200	252
有形固定資産合計	4,635	4,750
無形固定資産	102	81
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	2,653	2,741
その他	125	111
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	2,759	2,834
固定資産合計	7,498	7,667
資産合計	24,816	26,196

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,056	4,662
短期借入金	4,000	4,030
未払法人税等	50	33
賞与引当金	519	420
工事損失引当金	-	1
製品保証引当金	99	144
その他	1,410	1,314
流動負債合計	9,135	10,605
固定負債		
長期借入金	1,760	1,270
繰延税金負債	496	496
再評価に係る繰延税金負債	994	993
退職給付に係る負債	3,259	3,150
その他	32	88
固定負債合計	6,543	5,998
負債合計	15,679	16,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,895	5,895
利益剰余金	425	996
自己株式	△15	△15
株主資本合計	6,305	6,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
土地再評価差額金	2,253	2,254
退職給付に係る調整累計額	578	460
その他の包括利益累計額合計	2,831	2,715
純資産合計	9,137	9,591
負債純資産合計	24,816	26,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	11,324	14,468
売上原価	8,917	10,688
売上総利益	2,406	3,779
販売費及び一般管理費	2,975	2,998
営業利益又は営業損失(△)	△568	780
営業外収益		
受取手数料	3	2
技術指導料	6	3
その他	4	4
営業外収益合計	14	11
営業外費用		
支払利息	37	37
事務所移転費用	—	33
その他	8	7
営業外費用合計	46	77
経常利益又は経常損失(△)	△601	713
特別損失		
減損損失	9	—
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	9	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△610	713
法人税等	25	85
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△635	628
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△635	628

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△635	628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
土地再評価差額金	—	1
退職給付に係る調整額	142	△117
その他の包括利益合計	142	△115
四半期包括利益	△493	512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△493	512
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当社が締結している不動産賃貸契約に伴う原状回復義務にかかる資産除去債務について、新たな情報の入手に伴い見積りの変更を行っております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	情報システム	電子機器	合計
売上高			
外部顧客への売上高	8,231	3,092	11,324
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,231	3,092	11,324
セグメント利益(営業利益)	△192	△375	△568

(注)セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	情報システム	電子機器	合計
売上高			
外部顧客への売上高	9,178	5,289	14,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,178	5,289	14,468
セグメント利益(営業利益)	88	692	780

(注)セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 受注高及び受注残高

(単位：百万円)

	前年同四半期 2020年3月期 第3四半期累計		当四半期 2021年3月期 第3四半期累計		(参考) 2020年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
情報システム	7,233	6,871	9,862	7,043	10,410	6,359
電子機器	3,907	1,971	6,233	3,022	5,807	2,079
合計	11,141	8,843	16,096	10,066	16,217	8,438

(2) 売上高

(単位：百万円)

	前年同四半期 2020年3月期 第3四半期累計		当四半期 2021年3月期 第3四半期累計		(参考) 2020年3月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
情報システム	8,231	72.7%	9,178	63.4%	11,920	70.9%
電子機器	3,092	27.3%	5,289	36.6%	4,884	29.1%
合計	11,324	100%	14,468	100%	16,805	100%

(注) 海外売上高は以下のとおりであり、内数であります。

(単位：百万円)

	前年同四半期 2020年3月期 第3四半期累計		当四半期 2021年3月期 第3四半期累計		(参考) 2020年3月期
	海外売上高		海外売上高		海外売上高
情報システム	203		433		312
電子機器	977		2,450		1,706
合計	1,181		2,884		2,018
海外売上高の連結売上高に占める割合	10.4%		19.9%		12.0%